

# 加入が望まれる保険(共済)の補償内容について

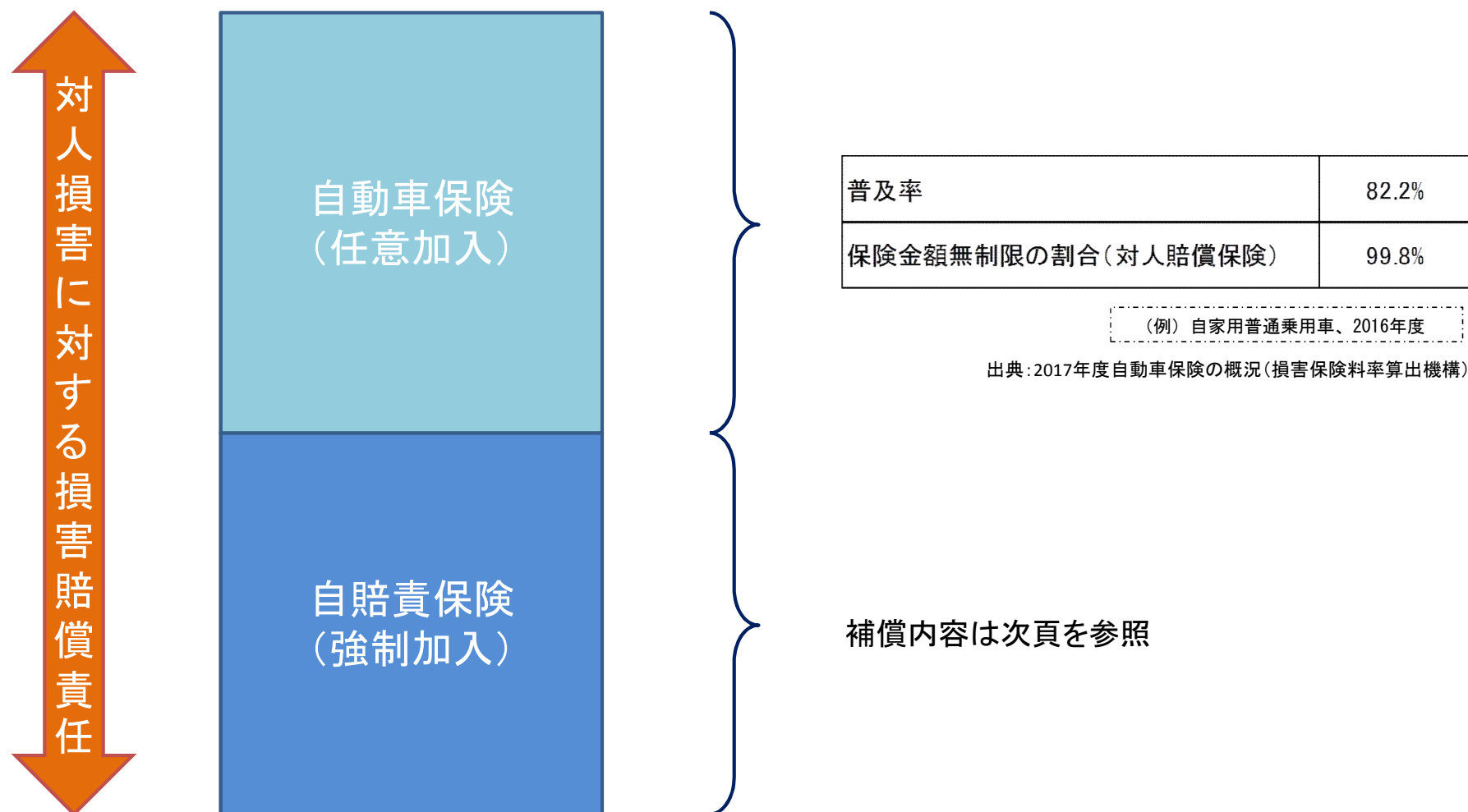


# 1. 自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)の補償範囲



## (1) 自賠責保険と自動車保険の関係

- 自賠責保険（自賠責共済を含む。以下同じ）は被害者保護を目的として、法律で原則全ての自動車に契約が義務付けられている
- 自賠責保険と自動車保険（自動車共済を含む。以下同じ）は、自動車事故により他人を死傷させた場合に発生する損害賠償責任を保障するものとなっている
- 自動車保険は、自賠責保険から支払われる額の超過部分を支払う保険となっている（例：交通事故で第三者を死亡させ1億円の賠償責任を負った場合、自賠責保険で支払限度額の3,000万円が支払われ、残りの7,000万円が任意加入の自動車保険で支払われる）



# 1. 自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)の補償範囲



## (2) 自賠責保険の補償内容

- 死亡による損害は最高3,000万円までとなっており、後遺障害は各等級に応じて支払限度額が決まっている
- 自動車事故では過去に5億円を超える対人賠償事故も発生しており、**自賠責保険だけでは高額賠償に対応できないため、任意保険とセットで加入することが一般的である**
- 補償は対人損害のみで、対物損害や車両損害に対しては対象外となっている

	損害の範囲	支払限度額(被害者1名あたり)
傷害による損害	治療関係費、文書料、休業損害、慰謝料等	最高120万円まで
後遺障害による損害	逸失利益、慰謝料等	神経系統・精神・胸腹部臓器に著しい障害を残して介護が必要な場合 最高4,000万円まで(常時介護のとき) 最高3,000万円まで(随時介護のとき)
		後遺障害の程度により 第1級 最高3,000万円まで ~ 第14級 最高75万円まで
死亡による損害	葬儀費、逸失利益、慰謝料(本人及び遺族)	最高3,000万円まで
死亡に至るまでの傷害による損害	(傷害による損害の場合と同じ)	最高120万円まで

# 1. 自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)の補償範囲



## (3) 自賠責保険の保険金額の変遷

- 自賠責保険の保険金額は、賃金、物価、賠償水準の動向を考慮して適正水準を維持するよう、必要の都度、改定されている
- 平成14年4月1日から現在まで保険金額は変更されていない

年月日	保険金額		
	死亡	傷害	後遺障害
昭和30年12月1日	30万円	重傷 10万円 軽傷 3万円	
昭和35年9月1日	50万円	同上	
昭和39年2月1日	100万円	30万円	障害の程度に応じ 5万円～100万円(12級～1級)
昭和41年7月1日	150万円	50万円	障害の程度に応じ 7万円～150万円(12級～1級)
昭和42年8月1日	300万円	同上	障害の程度に応じ 11万円～300万円(14級～1級)
昭和44年11月1日	500万円	同上	障害の程度に応じ 19万円～500万円(14級～1級)
昭和48年12月1日	1,000万円	80万円	障害の程度に応じ 37万円～1,000万円(14級～1級)
昭和50年7月1日	1,500万円	100万円	障害の程度に応じ 56万円～1,500万円(14級～1級)
昭和53年7月1日	2,000万円	120万円	障害の程度に応じ 75万円～2,000万円(14級～1級)
昭和60年4月15日	2,500万円	同上	障害の程度に応じ 75万円～2,500万円(14級～1級)
平成3年4月1日	3,000万円	同上	障害の程度に応じ 75万円～3,000万円(14級～1級)
平成14年4月1日	同上	1 介護を要する後遺障害 1級 4,000万円 2級 3,000万円 2 その他の後遺障害 障害の限度に応じ 75万～3,000万円 (14級～1級)	同上

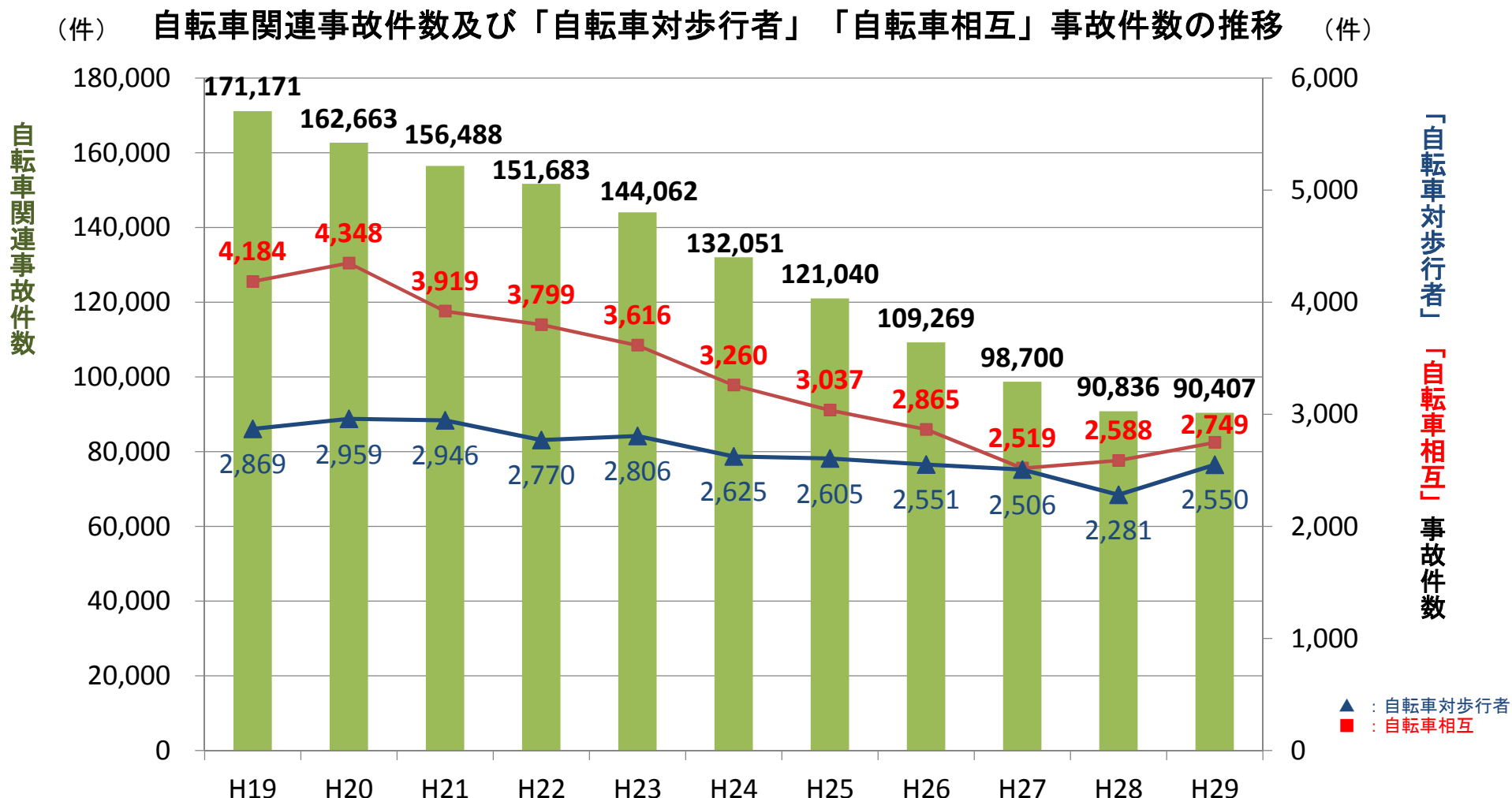
出典：損害保険料率算出機構

## 2. 自転車損害賠償責任保険等の補償内容の検討



### (1) 自転車関連事故件数の推移

- 自転車関連事故は年々減少しているのに対し、「自転車対歩行者」事故は減少せずに横ばいである
- 「自転車相互」は年々減少してきていたが、平成27年から増加しており、「自転車対歩行者」事故の件数より多い



※自転車乗用者が第一当事者・第二当事者となった事故を計上。ただし、自転車相互事故は1件として計上

出典:警察庁

## 2. 自転車損害賠償責任保険等の補償内容の検討



### (2) 高額賠償事件事例

- 自転車による事故でも相手が死亡したり後遺障害を負うような事故では、加害者は高額な賠償を求められる

#### 自転車事故の高額賠償事例

賠償額 (万円)	裁判所	判決日	被害者	被害内容	加害者・過失
9,521	神戸	平成25年7月4日	女性62歳	歩行者 後遺障害	小学生(11歳) 無灯火
9,266	東京	平成20年6月5日	男性24歳	自転車運転 後遺障害	男子高校生 通行違反
6,779	東京	平成15年9月30日	女性38歳	歩行者 死亡	男性 交差点進行
5,438	東京	平成19年4月11日	女性55歳	歩行者 死亡	男性 信号無視
4,746	東京	平成26年1月28日	女性75歳	歩行者 死亡	男性 信号無視

### 3. 自転車損害賠償責任保険等の加入が望まれる補償内容等



#### 自転車損害賠償責任保険等の加入が望まれる補償内容等

- 自転車損害賠償責任保険等は様々な種類の商品があるため、利用者がどの商品に加入するかを選択は自由である
- 自転車が他の物体（バス、乗用車、店舗等）と衝突しても相手に与えるダメージは限定的であり、高額賠償の事例は把握できる限りでは無い。よって、対物賠償は下表の補償内容の対象外としているが、**ほとんどの自転車損害賠償責任保険等は、対物賠償についても補償されている**
- 加入が望まれる補償内容は下表が考えられる

項目	内容	推奨理由
補償内容	・対人賠償（死亡・怪我など）	・近年、「自転車対歩行者」あるいは「自転車対自転車」の事故件数が横ばいに推移しており、被害者を救済できる補償内容が必要であるため
支払限度額（保険金額）	・1億円以上	・近年、自転車事故により「1億円近くの高額賠償事例」が発生しているため